


## 株式会社 ミラノ工務店 代表取締役社長 小崎 學さん



真心こもった確かな

## —御社の事業内容を教えてください。

創業以来、地元である京都に根付き、建築工事を手掛けてきました。現在、地場同業者の中では毎年売上高上位5社以内に入っています。

その理由は、地域密着でお客様や協力業者との関係を大切にしているからです。

大きな建物というのは、私たち一社で造ることはできません。規模にもよりますが、およそ50業種にも及ぶ協力業者と力を合わせて造り上げています。

そして平成29年4月3日をもちまして創業90周年を迎えることができました。

## —起業(創業)された経緯を教えてください。

昭和2年4月3日に小崎修、田中定次郎の2名により小崎・田中工務店を立ち上げ、昭和5年に時の先輩であった鍋田健三郎さんに加わっていただき三人の会社となりました。

その後、著名な建築家である武田五一さんの指導を受けた京都帝国大学營繕課長(後の京都工芸纖維大学学長)大倉三郎先生より拝命したのが「ミラノ工務店」という現社名です。

その名前の由来は「美術的な建造物がイタリアのミラノにはたくさんある、そんな会社を目指しなさい」であり、当時木造建築が主流であった京都の地に於いて「近代建築を目指そう」という心意気であったと聞いております。

## —中期の経営計画を教えてください。

当社は「真心こもった確かな技術で社会に貢献する」を経営理念としてこれまで地元京都に於いて数々のランドマークを建築して参りました。

これからも経営理念に沿った技術者の育成、新築工事の施工品質の充実、改修工事の受入体制の充実、従業員の働きやすい環境の整備、労働災害「ゼロ」の継続より建築で年商45億円、工事利益率15%を目指して100周年での実質無借金経営を維持継続する中期事業戦略を掲げています。

—若者が働きやすい企業を国が認定する「ユースエール企業」に土木建築業で初認定された経緯を教えてください。

昨今、人手不足が叫ばれて久しいですが、当社もご多分に漏れず、長らく人材が定着しない年月を過ごしました。

これまで雇用のミスマッチという単純な回答でやり過ごしてきましたが、優秀な人材無くして企業経営は成り立たないという結論を再認識するに至りました。

そこで取り組んだのが指導者の育成で、これに1年間を費やした結果、従前のティーチングからコーチングへと従業員の意識そのものが変化を見せ始めました。

また、これに並行してメンター制度の導入、資格取得支援、資格手当の増額、家族手当の新設、定額残業手当の廃止、年次有給休暇の積立制度導入、住宅手当新設、定年退職年齢の延長(60歳を65歳に)、ノーギャラリーの実施、お誕生日会の開催など労働環境そのものの改革も取り組んで参りました。

その結果、入社後3年間の離職率はゼロ、また従業員は20~30歳台が約40%を占め、女性社員は全体の20%を占めています。

## —御社を選ばれる人材に期待されることはどんなことですか?

自分の仕事に誇りや情熱を持てる人物です。

建物を造るというのは、そこを利用する方たちの安心と安全を担う責任のある仕事です。

建物というのは造ったら終わりではなく、保守・管理・改修を行いながら、使う方に合わせてどんどん進化させていくもの。まさに人々の営みである文化をつくっていると言っても過言ではありません。

それだけ社会的使命がある仕事です。働くことに日々感謝の気持ちを忘れず、自らの仕事に誇りを持ち、共に歩んでいける人材を求めております。

また、当社はこれからも京都の町にこだわり、事業を行っていきます。そのため転勤がありません。

転勤がないということは自分の得意先を持つことができます。経験を積むごとに、お客様から直接、建物の活用法の相談や、注文をもらうようになるなど、どんどん仕事が面白くなっています。また将来、結婚し、子育てをする場合でも、京都から離れることがないから安心して働き続けることができるでしょう。

沢山の可能性を持ったあなたと次世代のミラノ工務店を創っていくことを楽しみにしています。

## 【経営者プロフィール】

小崎 學(こさき まなぶ)  
昭和37年11月6日生  
昭和62年同志社大学文学部  
社会学科 産業関係学専攻  
昭和62年実父小崎勇が經營する当社に入社。  
平成6年1月代表取締役社長に就任。

## 会社概要

商 号：株式会社 ミラノ工務店  
本 社：京都市中京区夷川通河原町東入ル鉢田町310  
滋賀営業所：滋賀県大津市神領3-20-9  
創 営：昭和2年 設 立：昭和27年  
T E L：075-231-0177 F A X：075-222-1079  
代 表 者：小崎 學  
業 種：建築請負・設計  
従業員数：55名  
業 績：平成28年11月期 売上高44億5,873万円

  
昭和26年社章を社員に公募し多数の応募の中、小西敏雄(後の専務取締役)氏の作品が有職者で構成した社外選考委員会で選出された。社章は、ミラノの文字を3名の創業者に合わせ三角形に組み合わせ、中央に(ミ)、右に(ラ)、左に(ノ)を組み合わせたものである。その後75周年を機に、社章を変えることなく、下部にMILANOを組み合わせ現在に至っている。

技術で社会に貢献する